



「清流の国ぎふ」文化祭2024

ともに・つなぐ・みらいへ ～清流文化の創造～



岐阜県政記者クラブ加盟社 各位

令和6年10月23日（水）		岐阜県発表資料	
担 当 課	担 当 係	担 当 者	電 話 番 号
文化祭総務企画課	県民運動係	鈴木 一史	内線 3164 直通 058-272-8128 FAX 058-278-2551

＜「清流の国ぎふ」文化祭2024 県民運動＞

ハートマークビューイングワークショップ（10月26日開催） の実施について

能登半島地震及び奥能登豪雨による災害からの復興を祈念し、「清流の国ぎふ」文化祭2024（以下「文化祭」という。）の実施事業において、下記のとおりハートマークビューイングのワークショップを実施します。

記

1 日時

令和6年10月26日（土） 午後0時00分～午後3時00分

2 場所

岐阜メモリアルセンター 芝生広場（岐阜市長良福光大野 2675-28）

※同日行われる FC 岐阜対 FC 今治の試合会場において、来場者を対象に実施

3 ハートマークビューイング概要

東日本大震災復興支援プロジェクトとして、文化祭総合プロデューサーである日比野克彦氏の呼びかけで始まったものです。

世代を超えて、人々の想いやこころ、気持ちを伝えるカタチである「ハートマーク」（布、フェルト等で形づくる）を用いて被災地の景色を変え、気持ちを繋いでいくプロジェクトです。

なお、本県のワークショップにおいては、清流の国ぎふを象徴する水のしずく（1滴）を組み合わせ「ハートマーク」を形づくりします。

4 本県での取組み

文化祭では、「能登半島地震からの復興祈念」をテーマの一つとしています。こうした中、日比野氏が学長を務める東京藝術大学と金沢大学が連携して能登半島地震復興支援プロジェクトとしてハートマークビューイングを実施することから、本県（「清流の国ぎふ」文化祭2024実行委員会）としても、同プロジェクトに並行し、今夏の奥能登豪雨からの復興も祈念し、県内各地で開催する文化祭事業においてワークショップを継続して開催していきます。

<制作する「ハートマーク」の例>



◆「清流の国ぎふ」文化祭2024の概要◆

- 1 正式名称 「第39回国民文化祭」「第24回全国障害者芸術・文化祭」
- 2 統一名称 「清流の国ぎふ」文化祭2024（両大会をあわせた名称）
- 3 基本方針
 - ①「清流の国ぎふ」の文化力を結集・発信
 - ②次世代を見据えた文化芸術の創造
 - ③文化芸術で人が輝く共生社会の実現
 - ④国民文化の大交流の実現
- 4 キャッチフレーズ ともに・つなぐ・みらいへ ～ 清流文化の創造 ～
- 5 主催者 岐阜県、文化庁、厚生労働省 ほか
- 6 会 期 2024(令和6)年10月14日(月・祝)～11月24日(日) 42日間